

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：特別支援教育課

担当名：インクルーシブ教育推進担当

内線：6883

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B42	自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業			一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援教育振興費	ゆとりある障害児教育推進事業費	
事業期間	平成26年度～平成32年度	根拠法令	学校教育法第72・76・80条			宣言項目	06 次代を担う人財育成		
						分野施策	030625 様々な課題を抱える子供たちへの支援		
1 事業の概要	<p>インクルーシブ教育の推進と高校における特別支援教育の充実を図るための教育環境を整備する。また、特別支援学校に在籍する児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な支援体制と特別支援学校の児童生徒増に対応するため教室環境等の整備充実を図る。</p> <p>(1) 県南部地域特別支援学校（仮称）の設置 節約による減 <math>\Delta 46</math>千円</p> <p>(2) 既存特別支援学校の学習環境等の整備 節約による減 <math>\Delta 1,210</math>千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 県南部地域特別支援学校（仮称）の設置 視察旅費 380千円</p> <p>イ 既存特別支援学校の学習環境等の整備 教室の転用等に係る学習環境の整備 14,400千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 県南部地域特別支援学校（仮称）の設置 インクルーシブ教育の推進と高校における特別支援教育の充実、さらには県南部地域の児童生徒増への対応を図るため、平成33年4月の開校を目指し、戸田翔陽高校の敷地内に知的障害特別支援学校（高等部）を設置する。</p> <p>イ 既存特別支援学校の学習環境の整備 既存特別支援学校において、児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な支援体制をつくるとともに、在籍児童生徒の増加に対応するため、必要備品等の学習環境の整備を行う。</p> <p>(3) 事業効果 障害のある子供にとっての「多様な学びの場」や「障害のある子供とない子供が共に学ぶ場」を整備することで、インクルーシブ教育の推進と高校における特別支援教育の充実を図ることができる。 また、今後の児童生徒の増加に対応するとともに、特別支援学校に在籍する全ての児童生徒の自立と社会参加を促進することができる。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア 県南部地域特別支援学校（仮称）の設置：節約による減</p> <p>イ 既存特別支援学校の学習環境の整備：節約による減</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 3,500千円×3.3人=31,350千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 1,256$							$\Delta 1,256$	13,524
現計額	14,780							14,780	